

A529

プラネタリアムの歴史

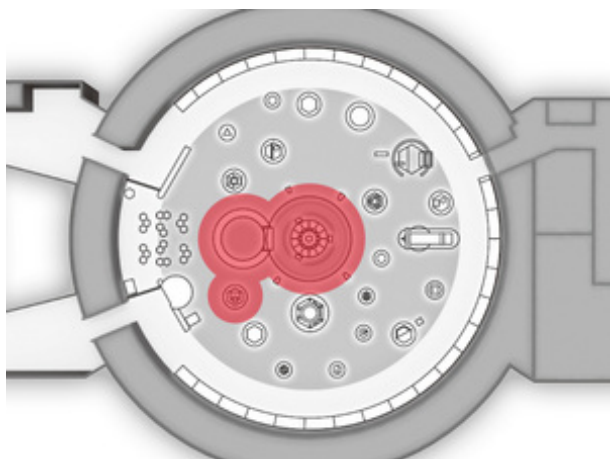
History of Planetariums

■展示品のねらい

この展示では、プラネタリアムの実物とともにその歴史を紹介します。



■知識プラスワン



【プラネタリアムの発展】

プラネタリアムの歴史の源流は、起源前にまでさかのぼります。その一つが天球儀で、球体に星や星座、黄道や赤道が描かれたものです。もう一つは惑星の動きを再現する天体運行儀です。近代の天体運行儀は時計作りの技術を基に作られました。その二つを合わせたのが、1923年に発明されたレンズ式プラネタリアムです。そしてそれを改良したのがファイバー式プラネタリアムです。

【さまざまなプラネタリアム】

コンピュータの技術が発達し、1983年には、コンピュータ画面をドームに投影するデジタル式のプラネタリアムも登場しました。天文館6Fのプラネタリアムドーム内には、ツァイスIX型（光学ファイバー式）とともに、MediaGlobe Σ SE(デジタル式)の二つのプラネタリアムが併設されています。

また、天井に星を映し出す家庭用のレンズ式プラネタリアムや、ピンホール式の組み立てキット、そして、コンピュータやモバイル機器の画面に星を映し出すプラネタリアムソフトなど、手軽に星を楽しむいろいろなプラネタリアムグッズが発売されています。

参考資料

地上に星空をープラネタリアムの歴史と技術(1998)伊東昌市(裳華房)
FROM THE ARATUS GLOBE TO THE ZEISS
PLANETARIUM(1957) Helmut Werner Verlag Gustav Fischer
文 学芸課 天文係